

みんなで防犯、  
明るい新年

年末・年始の防犯活動  
12月15日(土)～1月10日(木)

# 宇治市政だより

12/11

昭和59年  
(1984年)

第686号

発行 京都府宇治市  
編集 広報課  
〒611 京都府宇治市  
宇治琵琶33番地  
電話 (0774)22-3141  
●毎月1日・11日・21日発行



▲一瞬の油断で家庭の幸福を破壊する恐ろしい交通事故  
(宇治警察署提供)

## ストップ・ザ死亡事故

1月15日まで飲酒運転追放市民運動を展開中

## 年末年始は危険がいっぱい

飲酒運転追放市民運動が、来年一月十五日まで展開されます。また、京都府警察本部も十月二十五日に交通死亡事故非常事態を宣言し、年末にかけて交通取り締まりを強化しています。宇治警察署管内での十一月二十五日までの交通事故発生件数は千二百二十七件で、その内十七人が死亡。事故原因も無免許、飲酒、速度の出し過ぎなど、悪質なものが多く見られます。年末の慌ただしいこの時期、気持ちを一層引き締めて、交通ルールを守り安全運転に心掛けましょう。

今年一月二十五日までの宇治管内での交通事故発生状況は、発生件数・負傷者数は減少したが、死者は大幅増加。この傾向は、府下全般に共通しています。最近の死傷事故の種別は、無免許、飲酒、著しい速度違反など、悪質無謀な原因が多くなっています。また、連発の出し過ぎによるカーブの除外路や物件衝突などの思わぬ事故、更迭車の自動二輪の事故、老人の横断などの被害も多発。そして重要なのは、死傷事故の多くが京都市・南山城地区で発生していることです。年末の慌

たださは、ドライバーにとつて失ってはならない心のゆり、を奪い、ついに「1」を押し過ぎます。また、特に年末年始は忘年会・新年会などで飲酒の機会が増えます。このよつての時期は交通安全上最も注意を要する危険な時期です。交通事故防止のため、特に飲酒運転、連発の出し過ぎに注意しましょう。

1/1～11/25までの状況	昨年比
交通事故発生件数	1,227件 -23
死者数	17人 +8
負傷者数	1,546人 -27

なださは、ドライバーにとつて失ってはならない心のゆり、を奪い、ついに「1」を押し過ぎます。また、特に年末年始は忘年会・新年会などで飲酒の機会が増えます。このよつての時期は交通安全上最も注意を要する危険な時期です。交通事故防止のため、特に飲酒運転、連発の出し過ぎに注意しましょう。

飲酒の危険な落とし穴  
アルコールは、見えない酔ったまゝに判断力も低下し、危険な運転をします。

飲酒運転とその他の罰  
飲酒運転は、第六五条違反で、罰金五万円以下、または二年以下の懲役、またはその併科に処せられます。

飲めば苦い酒の味  
飲酒運転は、第六五条違反で、罰金五万円以下、または二年以下の懲役、またはその併科に処せられます。

法律は飲酒運転を厳しく禁止  
宇治警察署長 安川 優次課長

飲酒運転は、第六五条違反で、罰金五万円以下、または二年以下の懲役、またはその併科に処せられます。

飲酒運転は、第六五条違反で、罰金五万円以下、または二年以下の懲役、またはその併科に処せられます。

## 策定委員会が発足

近鉄大久保駅前再開発に向け  
市では、近鉄大久保駅前再開発に向け、近畿地方の市街地再開発の調査を目的に、宇治市大久保駅前地区整備計画策定委員会を、第一回委員会議を十月十日、宇治市職員会館で開催しました。

委員は、第一回委員会議を開催し、公共施設等の設計や整備計画、工費の概算、果樹園地利用調査、地元住民と意見交換が行われ、更に詳細に調査を行う。

委員は、第一回委員会議を開催し、公共施設等の設計や整備計画、工費の概算、果樹園地利用調査、地元住民と意見交換が行われ、更に詳細に調査を行う。

委員は、第一回委員会議を開催し、公共施設等の設計や整備計画、工費の概算、果樹園地利用調査、地元住民と意見交換が行われ、更に詳細に調査を行う。

## 節水法あらがると

「水の一滴は生命の一滴、



夏以後の減少雨の影響で、近畿地方の水事情は深刻な割合に深まっています。十一月十日、府山山城水が取水制限を開始して以来、市では、工場や学校、病院などの大口需要者に対し、節水を奨励するなどの、各種節水に向けた努力、調整等は、市民の皆さんの節水協力を得て水の需要は、取水制限開始後の割り当て配水量(日五万一千立方メートル)の枠内には収まっています。しかし、今後もますます、降雨期待が薄く、割り当て配水量が減少する場合は、一層の節水の努力が必要となります。そこで、水道料金節約にもなる節水法を、家庭でできる節水法を、お知らせしよう。

節水法を、家庭でできる節水法を、お知らせしよう。

節水法を、家庭でできる節水法を、お知らせしよう。

節水法を、家庭でできる節水法を、お知らせしよう。

